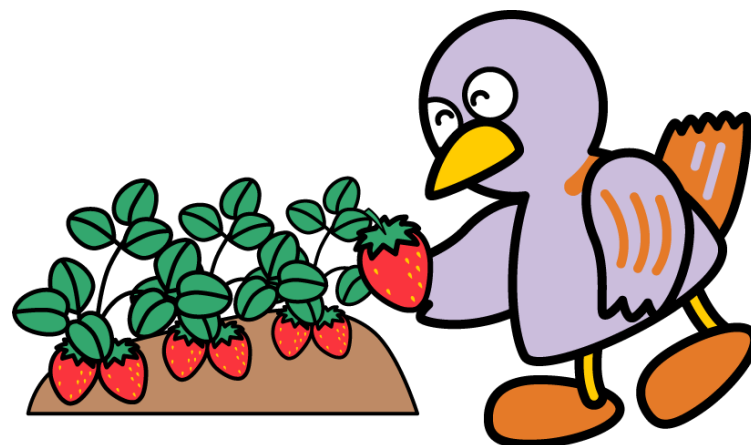


業績名

イチゴ新品種育成 ならびに栽培技術の開発

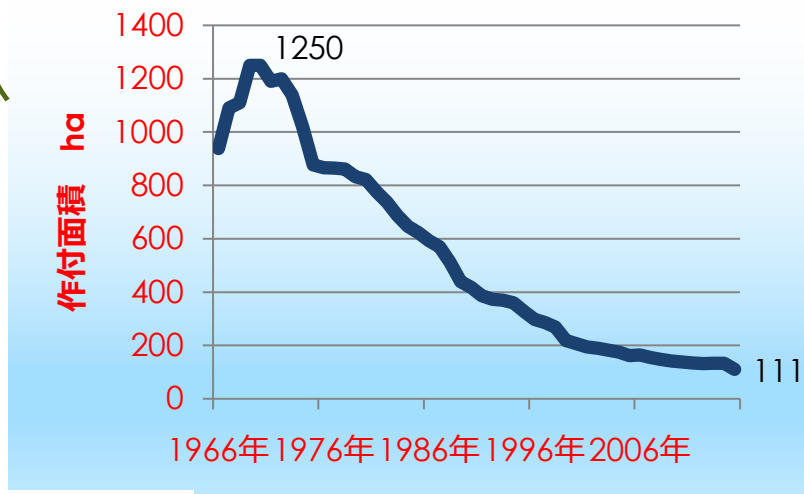


埼玉県マスコット「コバトン©」



育種開始時の生産状況

- 1969年をピークに生産面積の減少
- 2000年代後半から
観光・摘み取り園の増加
- 市場出荷農家の減少



2007年当時の主要栽培品種

市場出荷向け生産農園

- とちおとめ（栃木県育成）

観光農園等

- 紅ほっぺ（静岡県育成）
- 章姫（個人育成）
- とちおとめ（栃木県育成） etc.

埼玉県オリジナル品種の不在

他県産地との差別化を図るため県独自品種育成に強い要望



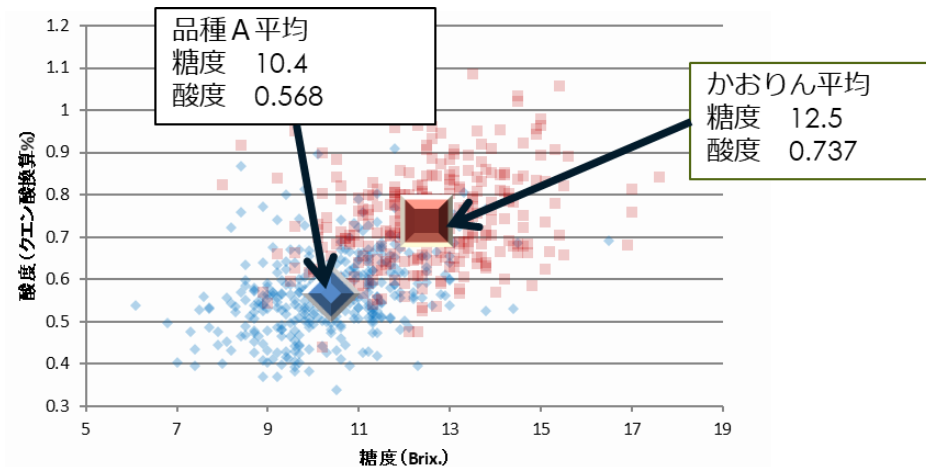
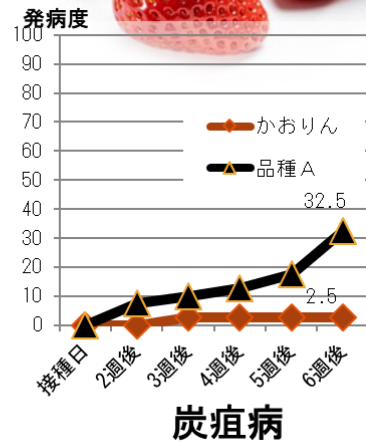
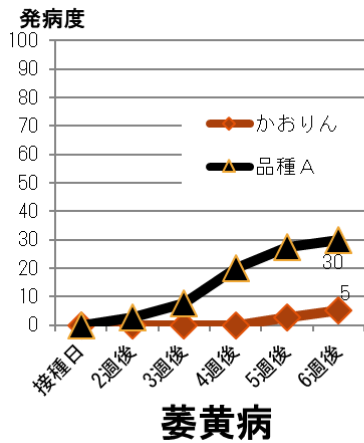
観光摘み取り・直売利用品種の育成



埼園い1号（かおりん®）

品種登録：2019年2月14日

- ふくあや香 × ゆめのか
- 2008年播種
- 炭疽病・萎黄病に強い
- 糖酸度ともに高い、極良食味品種



平成24～26年度の1から3月に収穫した果実を用いて調査を行った測定は7日おきを実施し、1～10果/回を供試した。

直売のラインナップの1つとして利用



埼玉県農業技術研究センター



観光摘み取り・直売利用品種の育成



整形果率の比較

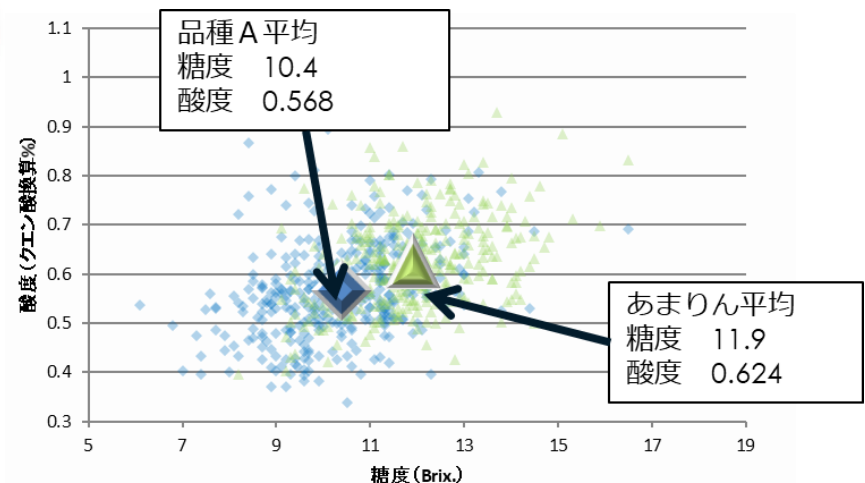
品種名	総収穫果数 (個)	整形果数 (個)	整形果率
あまりん	2756	2316	84.0%
品種A	3725	2263	60.8%

整形果：6g以上の正常果
2018年～2021年の収穫データを用いた
収穫期間：収穫開始から翌4月末

埼園い3号（あまりん®）

品種登録：2019年2月14日

- ふくはるか香 × やよいひめ
- 2009年播種
- 整形果率が高い
- 糖度の高い、良食味品種



平成24～26年度の1から3月に収穫した果実を用いて調査を行った測定は7日おきに実施し、1～10果/回を供試した。

観光摘み取り園や直売のラインナップの1つとして利用

埼玉県農業技術研究センター



市場出荷向け生産品種



開花日の比較

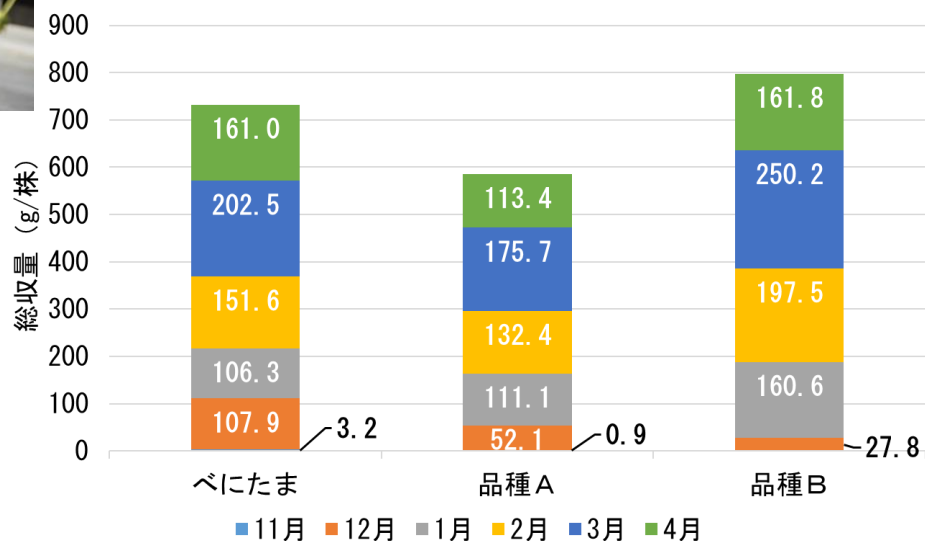
	頂果房	第1次腋果房	果房間日数
べにたま	11月 2日	12月16日	44日
品種A	11月 7日	12月24日	47日
品種B	11月19日	1月 3日	45日

2017～2020年の開花日の平均値を示す
各年次ともに18株の開花日を測定

べにたま

(出願公表：2021年9月16日)

- 埼園い1号 × かおり野
- 2012年播種
- 「とちおとめ」並みの早生
- 果形の乱れが少ない
- 暖候期の果皮色が「黒ずみ」が少ない



県内の産地から県内の小売店への流通を目指した品種

埼玉県農業技術研究センター



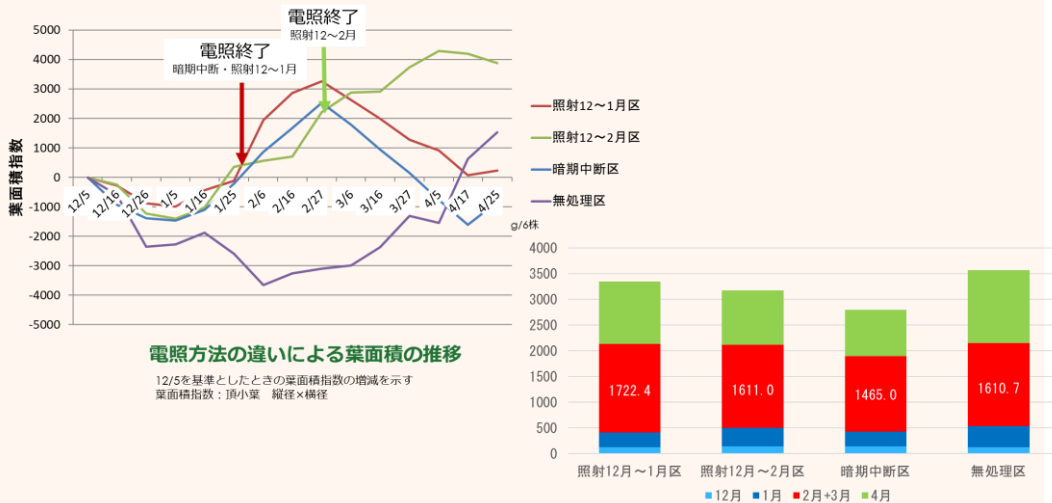
栽培技術の開発

試験研究結果に基づく「かおりん」・「あまりん」の栽培マニュアル作成

試験内容

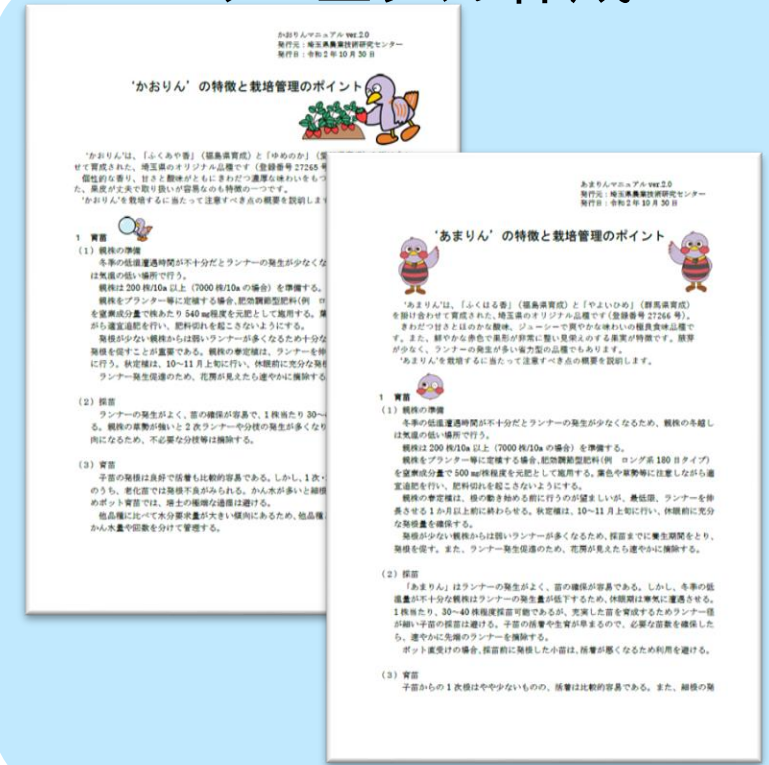
- 育苗日数の検討
- 育苗期の施肥量の検討
- 電照栽培の必要性の検討
- 炭酸ガス局所施用効果の検証

マニュアル作成



電照方法の違いによる厳寒期から暖冬期収量の比較

1区6株 3反復（無処理区のみ2反復）の平均総収量を示す
各区画における有意差はない（分散分析）



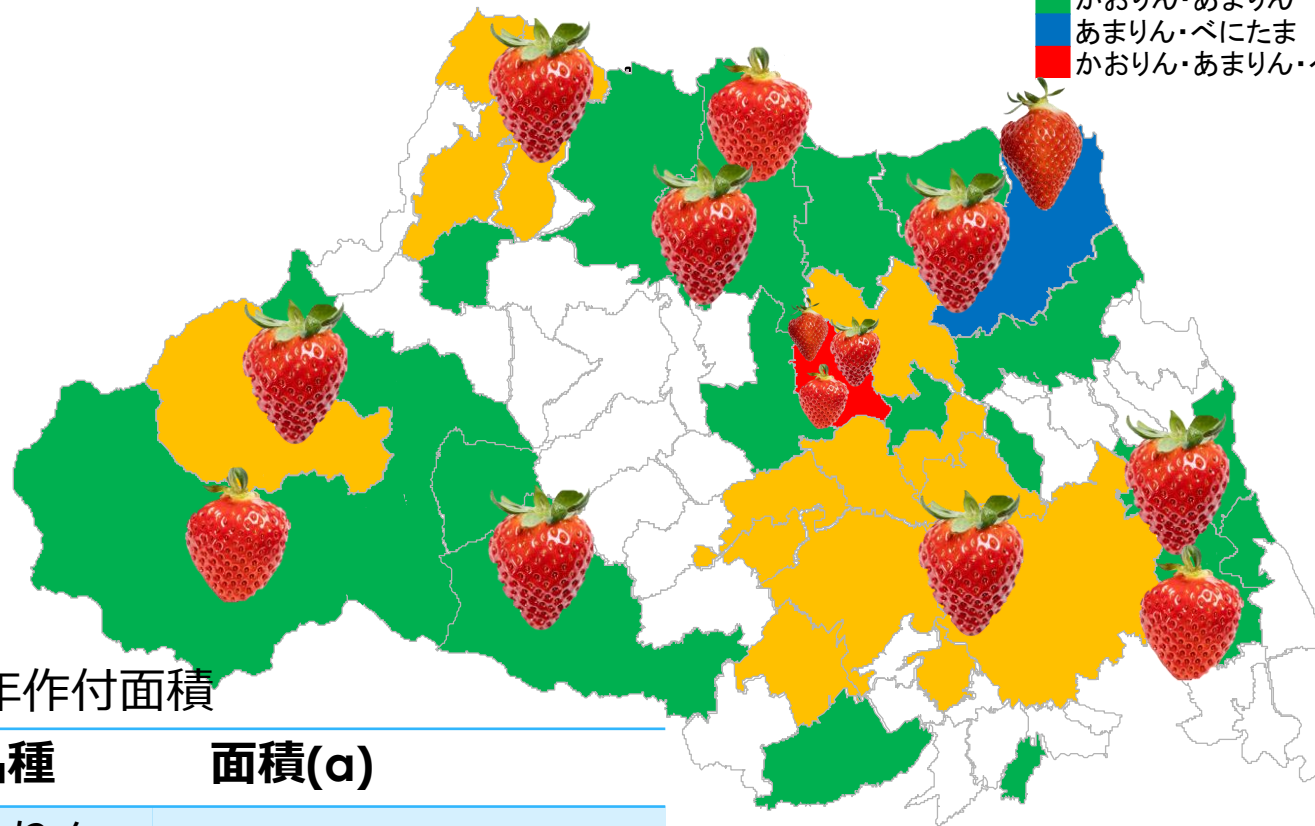
育成品種の利用拡大に寄与

埼玉県農業技術研究センター



育成品種の面的広がり

- あまりん
- かおりん・あまりん
- あまりん・べにたま
- かおりん・あまりん・べにたま



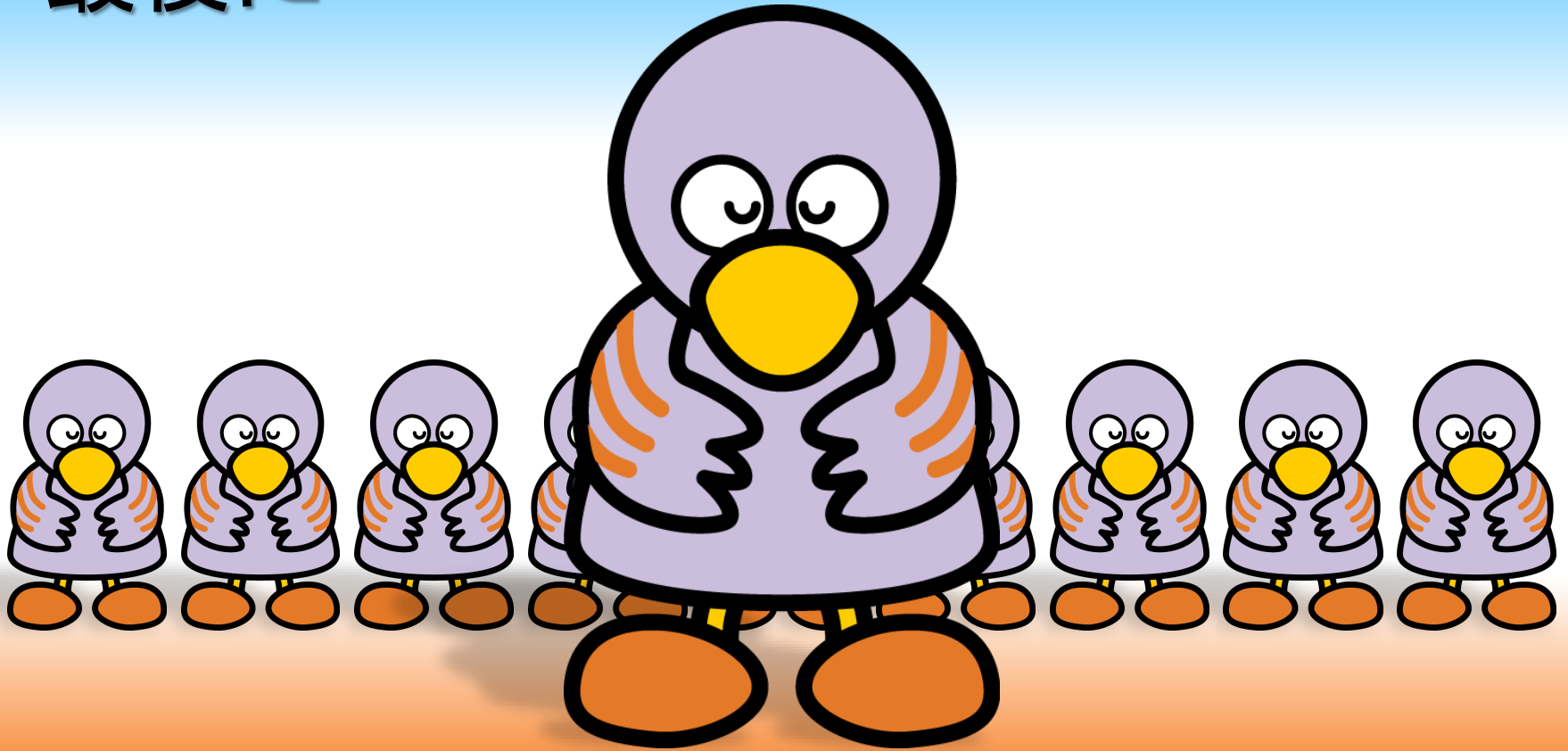
2021年作付面積

品種	面積(a)
かおりん	42.0
あまりん	685.5
べにたま	36.0 (試験栽培)
合計	763.5

埼玉県のイチゴ栽培面積（102ha 2020年）のうち育成品種の栽培面積は7%強であるが、面的な広がりを見せている



最後に



研究にご協力いただいた方々、諸先輩方、
すべての方にお礼申し上げます

